

今治市生活支援体制整備事業



ちょっとだけ、地域を支える私の手
～生きていく力とお互いさまの心を育む今治～

一人暮らしの高齢者や高齢者夫婦のみの世帯、要支援・要介護認定者が増加している中、「住み慣れた地域で安心して暮らしていける地域づくり」が求められています。

このような現状を踏まえ、平成27年度の介護保険法の一部改正により生活支援体制整備事業（以下、整備事業）が始まりました。整備事業では高齢者が抱える生活上の困りごとに対する取り組みや、より暮らしやすい地域の支えあいの体制づくりを推進しております。



生活の
困りごと



資源の開発



ネットワーク構築

ニーズと取り組みの
マッチング

～整備事業の役割～

- ♥ 一人ひとりの
関心や思いやり
- ♥ アイデア・工夫
- ♥ 地域性と地域情報
(人・もの・場所)
- ♥ 参加・協力・理解

生活支援コーディネーター

整備事業は、「生活支援」「介護予防」を重視し、地域の支えあいを充実するため、生活支援コーディネーターを第1層（市全体）と第2層（市内27地区）に配置し、主に下記の活動をしております。

高齢者の生活課題の把握



老人クラブやサロン等の集いの場への訪問や、団体・組織・機関等からの聞き取りや調査から、地域のニーズ（困りごと）を把握します。

社会資源の把握・充実・開発



地縁団体や活動等の社会資源を把握し、これらの社会資源が高齢者を支える地域づくりに繋がるよう、充実に図ったり、ニーズに即した社会資源の開発を行います。

生活支援の担い手の養成・発掘



すべての人が支えあい活動の担い手となるように、講座や研修等を通じて、学習・社会参加の機会をつくれます。

ネットワークづくり



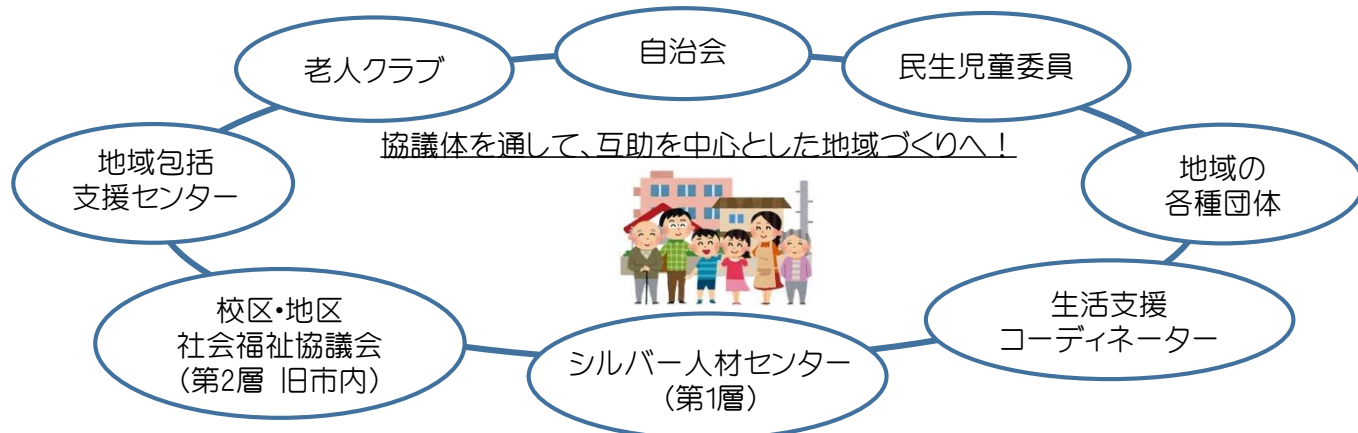
既存の社会資源の強みを活かしつつ、団体・組織・機関等による情報共有・連携の体制づくりをすすめます。

協議体

今治市では第1層（市全体）と第2層（市内27地区）で協議体を設置しています。協議体では互助を中心とした地域づくりを住民主体で進めるため、地域の実情に合わせて様々な方と、定期的な情報共有や連携の強化、課題解決のための取り組みについて話し合い、地域への働きかけを行っています。

図：協議体のイメージ

※協議体の参加者（構成員）は各地域によって異なる場合があります。



各地区の支え合い活動を紹介します

◆生活支援活動の充実

～ノウエ（伯方地区）～

伯方島に住む人たちが安心して生活を続けられるような島にしたいとの思いから、ノウエではできる人ができる時に、普段の生活の中の困りごとをお手伝いする活動を行っています。日頃から行っている家事などが困っている方の大きなサポートとなっています。



◆見守りネットワークづくり

～大西町見守りガイドブック（大西地区）～

大西町では、協議体を通じて『大西町見守りガイドブック』を作成しました。見守りにつながる様々な活動、見守りのポイント、異変に気づいた時の対応や相談先などを掲載しており、今ある強みを活かして、高齢者の異変に早く気付く地域となるよう、啓発活動に取り組んでいます。



◆集いの場の充実

～いきいきサロンスマイル石井・湊（近見地区）～

近見地区の石井、湊にて月1回ずつ行われています。サロンには高齢者だけでなく、子どもとその親も参加し、ゲームやお話しなどを通じて多世代交流が図られています。日中の居場所というだけでなく、悩みを共有する機会にもなっており、参加者同士の支えあいにもつながっています。



集いの場の検索ページを作成しました！

今治市内には、地域の方々が集い、おしゃべりや趣味活動などを通して交流を図る「集いの場」が多くあります。人との交流や楽しみを持つことは、生きがいづくりや介護予防にもつながります。

今治市社会福祉協議会のホームページ内にて、今治市内の集いの場について、場所や内容などを絞り込みながら検索することができます。ぜひご覧ください。



この事業に関するお問い合わせ

今治市社会福祉協議会 地域福祉課 生活支援コーディネーター
所在地：今治市南宝来町1丁目9-8（今治市総合福祉センター内）
電話番号：0898-22-6074 FAX：0898-22-6022

